

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	<p>※食事介助者にケアを要する時間がかかり、職員と一緒に食べる環境がなかった。</p> <p>①調理された食事を利用者だけで食べていた。</p> <p>②職員が立ったまま食事介助をしていた。</p>	<p>①要介助者は早めの食事を提供し、職員も一緒に食事ができる環境を作る。</p> <p>②職員は、同じ目線で座って介助するように基本を徹底する。(第三者の視点で行動する)</p>	<p>①外部評価実施後、一人ひとりの職員とヒアリングを行い一緒に食事をするこの意味を考え、同じ時間・テーブルで食事をする環境を整えた。</p> <p>②「利用者の立場になったケアとは何か」の話し合いを行い職員の基本姿勢について会議を行い、「座って、同じ目線」で食事介助するように、再度指導を行った。</p> <p>※現在は、2項目とも改善出来た。</p>	0ヶ月
2	36	<p>トイレの仕切りカーテンの丈が短く、プライバシーの確保に欠けていた。</p>	<p>①透き通らず、足元まで隠れるよう(即日)プライバシーを確保する。</p> <p>②職員の視点ではなく、常に利用者の視点でプライバシーの確保をする。</p>	<p>利用者の立場になり、自分だったらそのようなトイレで用を足せるかについて話し合いを行った。全職員、「できない」との返答。即日、カーテンの取り換えを行った。現在は、改善された。</p>	0ヶ月
3	35	<p>災害対策として、年2回の(火災)防災訓練は行っていたが、地震及び水災害は行っていなかった。</p>	<p>火災訓練に加え、地震及び水災害(台風)等のあらゆる想定をした訓練も取り入れていく。</p>	<p>①地震などの災害は火災訓練と組み合わせた形で実施。(消防署へ相談済み)2月末の総合防災訓練で実施予定。</p> <p>②水災害(台風など)については、H27年8月の防災訓練に合わせて実施予定。</p> <p>※いずれも、消防、地域との協議もしていく。</p>	8ヶ月
4	6	<p>歩き回り、エスケイプの方が多く手薄になる時間帯に出入り口に鍵をかけていた。</p>	<p>※やってみようという意識を全職員が持つ。</p> <p>①出たいときに、すぐに出られる環境にする。(鍵のない暮らし0目標)</p> <p>②身体拘束(鍵のない暮らし0目標)についての話し合いを地域、ご家族交えて勉強会をする。</p>	<p>①(エスケイプの頻度高い)一人ひとりの心身の状態や生活のリズムを把握し予測される危険性の話し合いを持つ。</p> <p>②抑圧のない環境がご利用者の心身にどのように影響するのか、また、どれほど大切なのかの話し合いを持つ。</p> <p>③地域の方々に、エスケイプのある方の情報提供を行い、協力体制を整える。(ご家族了承も得る)</p>	12ヶ月
5	1	<p>理念については、当法人の経営する他のグループホーム(2か所)と共有した理念になっており、作成から12年が経過していた。</p>	<p>①現在の地域情勢、ご利用者様のニーズに合わせた独自の理念を作成する。</p> <p>②経営理念をベースに親しみやすい理念を作成する。</p>	<p>※グループホームに求められているものは何か、自分たちの役目役割は何か、何のために存在するのか考える。</p> <p>①全職員参加で作成。</p> <p>②地域、利用者、家族のニーズ調査。</p>	12ヶ月